

既設最終処分場環境保全性向上 調査報告書

平成18年9月

(社)日本廃棄物コンサルタント協会
既設最終処分場環境保全性向上専門委員会

目 次

はじめに	
第1章 本研究の背景と目的	1
1.1 本研究の背景	1
1.2 本研究の目的	2
1.3 本報告書の構成	3
第2章 最終処分場の技術基準の変遷と課題	4
2.1 最終処分場に係る法律の変遷	6
2.2 最終処分場の構造基準の変化	8
2.3 埋立終了後に係る方法の変遷と環境保全上の課題	10
第3章 最終処分場に係る土壌・地下水汚染事例	19
3.1 A市の事例	19
3.2 Y市の事例	22
3.3 O市の事例	25
第4章 既設最終処分場に係る環境保全性向上の必要性とプロセス	28
4.1 環境保全調査の手順	30
4.2 調査の概要	32
第5章 環境保全性向上のための調査	35
5.1 最終処分場の健全性調査	35
5.2 地下水汚染機構調査	52
第6章 最終処分場の健全性評価	72
6.1 地下水汚染状況の評価	72
6.2 水質類似性評価	75
6.3 構造物の健全性評価	76
6.4 将来の汚染拡散可能性の評価	78
6.5 廃棄物安定状況の評価	78
第7章 環境保全性向上のための対策	80
7.1 対策工の選定	80
7.2 対策工の内容と留意事項	82
第8章 環境保全対策後に必要なモニタリング	101
8.1 必要なモニタリングの種類	101
8.2 モニタリングの方法	103
第9章 総括と今後の課題	108